

グランドデザイン構想の策定にあたって

練馬区では、都心に近い利便性を享受しながら、農地や樹林・公園など、多彩なみどりに包まれた暮らしを楽しむことができます。

みどりを更に増やし、教育・福祉・医療サービスを充実し、道路や公共交通など都市インフラを整備することで、『ここに練馬区あり』と胸を張れる豊かで美しいまちを、次の世代に引き継ぎたい。私の夢であります。

グランドデザイン構想は、目指す将来像を区民の皆さまと共有し、区政を更に前に進めるために策定しました。

区内では、町会・自治会のお祭り、商店会のイベントやまちゼミ、ねりマルシェなど地域に根差した区民の自発的活動が行われています。更には、コンビニを認知症高齢者の見守り拠点とする仕組み、みどりの区民会議を通じたみどりの保全・創出の新たな手法、街かどケアカフェやはつらつシニアクラブの多様化など新たな取り組みも生まれています。

こうした取り組みを、あらゆる分野に拡げていくことが、練馬区を発展させていくと確信しています。

区政を「参加と協働」から「参加から協働へ」と深化させ、練馬ならではの自治の創造へ向けて、更に前へ進みたい。心から願っています。

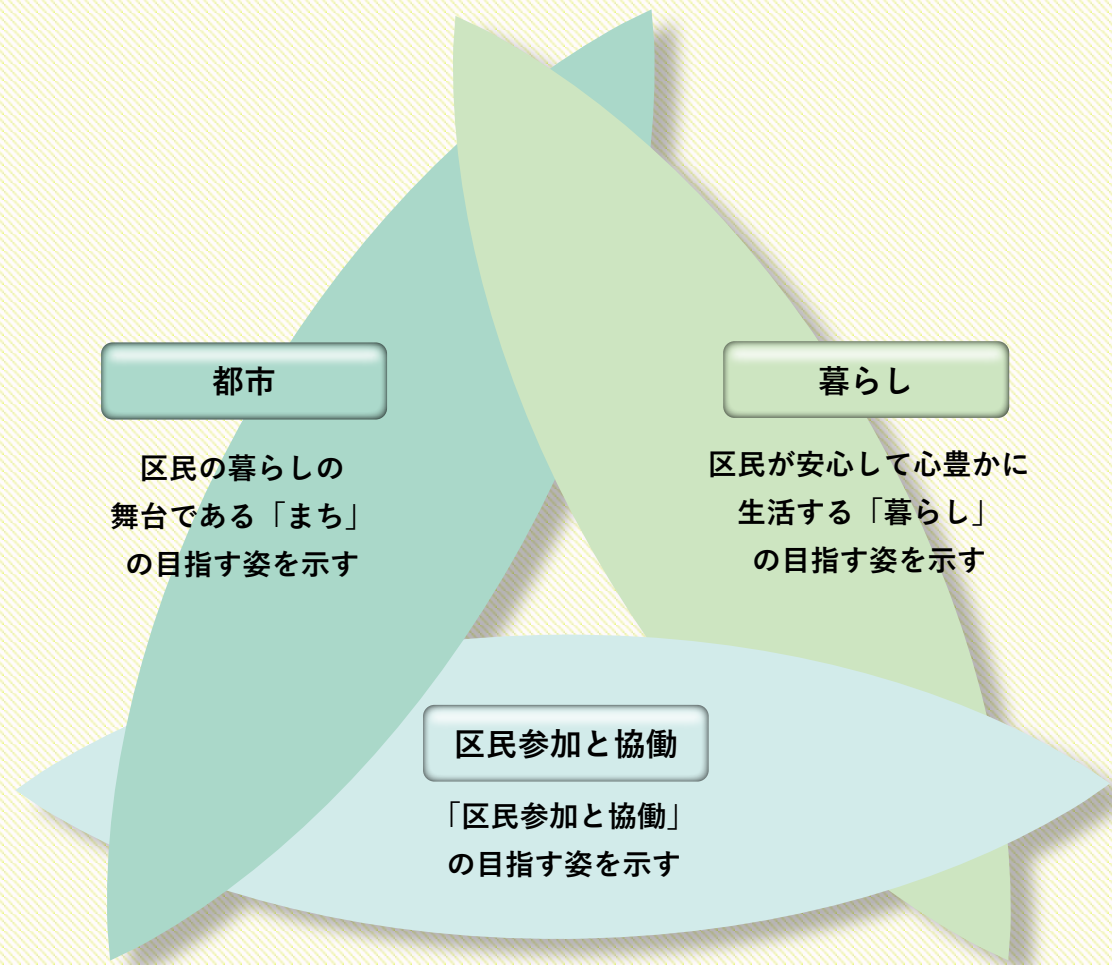
平成30年6月

練馬区長 前川 耀男



グランドデザイン構想

- ・練馬の発展には、区民参加と協働を根幹に据えた、「暮らし」と「都市」の両面のインフラ整備が必要
- ・おおむね10年後から30年後の将来像を「暮らし」「都市」「区民参加と協働」の3つの分野で示す
- ・ここに示す将来像の実現に向けた具体的な取組や事業、財政フレームは新「みどりの風吹くまちビジョン」「アクションプラン」において明らかにしていく



目指す将来像を区民と共有し、
未来の練馬をつくっていく

「暮らし」のグランドデザイン	・・・ 2	右開き
「区民参加と協働」のグランドデザイン	・・・ 31	左開き
「都市」のグランドデザイン	・・・ 57	左開き

この冊子は左右両開きの形式をとっています。